

項目	ご意見	対応
プロモーション	● SNS等を活用して、「今」出会ったどっぷり高知旅を共有しながら、どんどん盛り上げられるような、ライブ感のある取り組みを実施してほしい。 ● 令和8年度の国民文化祭で来た方に向けた施策は検討しているか。 ● 高知駅にアンパンマン列車が停車していたところを見たが、黄色の車体に様々なキャラクターが描かれていて壮観だった。非常に映えるスポットということで発信すれば大きな宣伝効果があるのではないか。また、チラシやパンフレットにおいても黄色などの活動的な色使いをしていただきたい。 ● どっぷりな場所ほどアクセスが難しくインバウンドが呼びづらい。インバウンドの方にもどっぷり高知旅を楽しんでもらえる広報の工夫を検討していただきたい。	● SNSで発信する際には、「どっぷり」というコンセプトが伝わる臨場感のある動画やライブ配信機能なども活用しながら、実際に高知を訪れたと思わせる情報発信に努める。 ● 国民文化祭を契機としてお越しいただいた方には、どっぷり高知旅キャンペーンで取り組んでいる「地域ならではの」体験は親和性が高いと考えているので、しっかりとPRしていく。 ● アンパンマン列車は多くの方の注目を集めており、撮影されている方も多いと伺っている。権利主体に随時確認を行いながら、可能な範囲で発信していきたい。 「あんぱん」に連動した発信の際には、これまでも赤や黄色などを積極的に活用しており、今後も色使いを意識して発信していく。 ● 高知を訪れたインバウンドの方を対象に、共通ハッシュタグをつけて、高知の旅の思い出を発信してもらうと、ノベルティをプレゼントするような取り組みを検討中。（ハッシュタグ例：#naturallykochi）
受入体制	● 本県は二次交通の便が良くないエリアもある中で、レンタカーの予約がとれないという話をよく聞くので、対策が必要ではないか。	● レンタカーについても、繁閑の差をなくすことが対策に繋がるものと認識している。今年度から行う平日宿泊キャンペーンや、冬場の閑散期対策を着実に進めていきたい。
どっぷり商品	● ツアー造成など、今年度に協力してくださった地域の方のモチベーションが下がらないようにしていただきたい。	● 昨年度造成された商品の催行状況の確認を行うほか、困りごとに対応するフォローアップを実施する。また、それらの商品を行程に組み込んだ募集型企画旅行の催行を予定している。 さらに、造成したツアーへの誘客が進むように、積極的に公式HP・SNSで紹介するとともに、テレビ・雑誌などにも掲載できるよう広報・PR活動に取り組んでいく。
あんぱん	● やなせさんの子ども向け冊子が配られているが、ただ配るのではなく冊子を活用して学びを深められるような取り組みができないか。	● 地元に関することを学ぶことは、おもてなしの観点からも大切なことであると認識している。学びを深めるという観点では、例えば出前授業の依頼があった際には、やなせさんの功績などをあわせてご説明するなど、機会を捉えて取組を行っていきたい。